

卒業論文講評

小関 隆志

佐藤 亮太「サブカルバンド人気の要因」

佐藤さんは、自身の好きなサブカルバンドを論文のテーマに選びました。単に自身の趣味の世界を披瀝するのではなく、経営学の観点から改めて光を当ててみるという新鮮な視点が良いと思います。

ファンであれば、ある特定のバンドが好きだから、CDを買う、SNSコミュニティに参加する、ライブコンサートに行くといった行動に自然に結びついていくのですが、そうしたファンの行動は、実は各バンドによって巧妙に作り出されて、特定の方向に導かれているわけです。サブカルバンドの人气がどのように作り出されているのかに着目して解明するのがこの論文の鋭い着眼点です。

佐藤さんの論文で、特に優れていると感じたのは、3つのバンドの事例を比較しながら、仮説を検証するという形で議論を進めている点です。ファン数の規模という外形上の基準で3つの事例を選んだこと、また仮説を出すにあたって「サブカル」という概念とその必要条件を自ら定義したこと、そしてその必要条件が3つの事例の比較にあたって有効に機能していること。いずれも論理的にきちんと筋立てができており、感心しました。

事例としたバンドの関係者に直接話を聞くことは残念ながらできませんでしたが、コンサート会場で、来場者のファンにアンケートを取り、その結果をもとに議論を進めたのは現実的に可能な調査方法として実に賢明だったと思います。